

## 団体名 周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会 (周南市)

|        |           |                                                                                    |
|--------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 片川 久美子    | 団体の目的                                                                              |
| 構成員数   | 13人       | <ul style="list-style-type: none"> <li>山口県指定無形民俗文化財糸あやつり人形芝居の保存並びに継承を図る</li> </ul> |
| 設立     | 1946年1月   |                                                                                    |
| 問い合わせ先 | 山口きらめき財団へ |                                                                                    |

### 事業名 伝統芸能「周南市安田の糸あやつり人形芝居」の保存と継承事業

#### 事業の目的

- 三丘地区の誇れる伝統文化「安田の糸あやつり人形芝居」を多くの方に啓発し、実際に見て、触れていただく中で伝統文化の後継者を育成し、地域の伝承文化への保護意識や関心、地域への誇りを育み、地域活性化への一助とする

#### 事業の内容

##### ○ 保存啓発事業

|     |                                                                    |      |             |     |       |
|-----|--------------------------------------------------------------------|------|-------------|-----|-------|
| 開催日 | 8月6日(日)                                                            | 開催場所 | 周南市三丘市民センター | 参加者 | 約120人 |
| 内容  | 地元の和霊大明神祭礼に併せて奉納上演し、無形民俗文化財の保存に務める<br>伊達娘恋緋鹿子(火の見櫓の段)、絵本太功記(尼ヶ崎の段) |      |             |     |       |

- ・放課後子ども教室(4年生～6年生)年間10回 人形浄瑠璃の体験や指導を実施

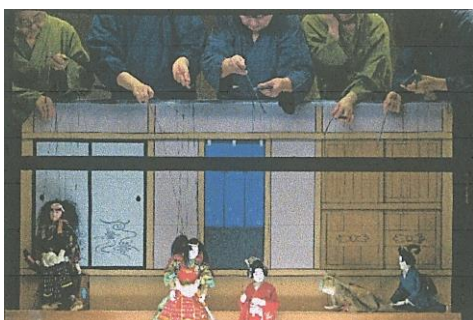
##### ○ 継承事業

- ・周南市立三丘小学校での伝習活動「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」
- ・熊毛北高等学校での伝習活動「寿式三番叟」
- ・浄瑠璃専門家竹本友和嘉師(徳島在住)を招いて受指導(三丘小学校5・6年生および保存会会員対象)

#### 事業の成果

- コロナ禍で休止していた定期公演(和霊大明神奉納公演)を開催することができ、多くの活動が活性化した
- 小学校や高等学校での伝承活動がコロナ禍前のように行われ、放課後子ども教室も復活した  
小学生は、人形浄瑠璃が好きになり、熊毛北高等学校では、生徒が一定の達成感を得てくれた
- 専門家の指導を仰ぐことは、保存会員、子どもたちにとって、技術的にも精神的にも貴重な経験となった

#### 活動の写真



▲ 奉納公演



▲ 高校生・小学生への伝承活動



## 団体名 宇部市地球温暖化対策ネットワーク (宇部市)

|        |                     |                                                                                                                                  |
|--------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 渡邊裕志                | 団体の目的                                                                                                                            |
| 構成員数   | 105団体+79人           | <ul style="list-style-type: none"> <li>低炭素社会の形成を目指し温室効果ガス削減に向け、産・官・学・民の相互理解と協力のもと、地域における地球温暖化対策を協議、実践し、環境共生都市の実現に寄与する</li> </ul> |
| 設立     | 2002年10月            |                                                                                                                                  |
| 問い合わせ先 | unccainfo@ybb.ne.jp |                                                                                                                                  |

### 事業名 子どもから家庭の省エネを拡げる「エコレンジャープロジェクト」

#### 事業の目的

- 家庭におけるCO<sub>2</sub>削減を促す手段として、子どもを主体として家族で省エネに取り組むことにより、家庭内コミュニケーションを促進し、次世代につながる実践活動とする

#### 事業の内容

- 7月～9月の3か月間を活動期間とし、「エコレンジャー」に任命された小学生が中心となって家庭内の電気の使い方をチェックシートに基づいてチェック。3か月間の電気検針票により、前年との比較を集計、分析し、優秀者を表彰
- 表彰式

|     |                                                  |      |         |     |     |
|-----|--------------------------------------------------|------|---------|-----|-----|
| 開催日 | 12月17日(日)                                        | 開催場所 | 宇部市立図書館 | 参加者 | 90人 |
| 内容  | 家庭の省エネに挑戦したエコレンジャー隊員の活動結果の報告<br>優秀隊員の表彰、省エネ内容の発表 |      |         |     |     |

#### 事業の成果

- エコレンジャー(小学生)89人、71家庭が参加し、67人、51家庭から報告があった
- 平均気温が4℃近く高くなった悪条件の中、全体で昨年度比6.8%の削減となった
- 子どもたちを主役にしたことで家庭でのコミュニケーションが進み、大きな成果を得ることができた

#### 活動現場レポート

##### 「地球防衛戦隊エコレンジャー 2023年度活動報告会」

日時：12月17日(日) 10:00～／場所：宇部市立図書館(宇部市)

- ◆ この日は、3か月の家庭での省エネ取組の集計を元にエコレンジャーの活動報告と表彰式が行われました。
- ◆ 殿河内事務局長から、昨年度に比べて気温が高くなる悪条件でもこれまでで最高の成績であったことや、エフエムラジオに家族で出演いただくことによって、広く市内全域に活動を啓発、PRできたとの報告がありました。
- ◆ エコレンジャーの表彰式では、一人ひとり、頑張った点や苦勞したこと、今後の取組の決意などのインタビューがあり、子どもたちははにかみながらも取組から得たことを発表していました。
- ◆ この取組が全市、全県、全国に広がっていけば相当な量のCO<sub>2</sub>の削減が進むのではないかと思います。他地域のモデルにもなる取組と思われるので、今後もぜひ継続していただきたいです。

表彰式の様子 ▶



## 団体名 東岐波里海再生の会 (宇部市)

|        |                             |                                                                |
|--------|-----------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 寿恵村 泰生                      | 団体の目的<br>・ 宇部市東岐波地域の休耕地を活用し、地域の活性化を図るため地元の住民や中学生と連携しオリーブの栽培を行う |
| 構成員数   | 13人                         |                                                                |
| 設立     | 2000年4月                     |                                                                |
| 問い合わせ先 | y.suemura@dream.bbexcite.jp |                                                                |

### 事業名 オリーブ関連の商品化

#### 事業の目的

○ 小学校、中学校と連携して、休耕地を活用しオリーブを育て、オリーブ製品を作り地元の特産品とする

#### 事業の内容

- オリーブの植生地の整備
  - ・ 除草：雑草の生える時期に毎週実施（4～9月の間）
  - ・ 虫の駆除と消毒：オリーブの木は虫が好むため、年間を通して虫を駆除（根本の樹皮に「ぞう虫」が入り込み木を枯らすため対策が必要）
  - ・ 剪定：木の成長が早く、枝が茂ると日光が遠くなり実の付きが悪くなるため木の様子を確かめながら適宜実施
- 地域おこしにつながる加工品づくり
  - ・ 東岐波中学校の生徒と実を収穫。油絞りについては業者に発注
  - ・ オリーブ油の製造の他には、オリーブの新漬け、黒糖漬け、オリーブ茶を製造
  - ・ 宇部市のふるさと納税の返礼品にも選出された

#### 事業の成果

- 収穫したオリーブの加工品が地域のふるさと祭りでも売り切れるほど人気で、活動が地元に着してきたと感じている
- 新しく開発したオリーブの新漬けは特に評価が高く人気であった
- 会員の高齢化も進んでいるが、地元の中学生と一緒に取り組むことができているので今後も継続していきたい

活動現場レポート      オリーブの収穫作業  
日時：10月23日（月）10：00～／場所：オリーブ畑（宇部市東岐波）

- ◆ この日は宇部市立東岐波中学校の生徒も交えて、オリーブの収穫体験が行われました。約70本のオリーブの木に、小さなオリーブがたわわに実っており、それを一つ一つ手作業で収穫していきます。
- ◆ 手が届く範囲のものは割と簡単なのですが、木の上の方に実っているものは脚立を使う必要があり、足場を固定しながら慎重に作業を続けました。
- ◆ 今年は夏の気温が高く、雨が少なかったため、オリーブの実は全体的に小ぶりで少しぼんぼりしているものが多かったようです。収穫量については過去最多の80kgとのことでした。
- ◆ 中学生が蜘蛛の巣に頭をつっこんでしまい、はしゃぎながら収穫する姿を微笑ましく見守り、楽しく交流しながらの作業となりました。ここ数年は中学校の生徒会が10人程度この作業に参加されているとのこと。引率の先生方も農作業を楽しまれている感じで、和気あいあいとした雰囲気となっていました。

収穫したオリーブとともに記念写真 ▶



## 団体名 特定非営利活動法人 もりのこえん (山口市)

|        |                     |                                                                                                                 |
|--------|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 井出崎 小百合             | 団体の目的                                                                                                           |
| 構成員数   | 25人                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>自然体験活動を主とした子育て支援に関する事業を実施し、子育てを支え合い、誰もが尊重され、生きる喜びを感じられる社会を目指す</li> </ul> |
| 設立     | 2017年10月            |                                                                                                                 |
| 問い合わせ先 | info@morinokoen.com |                                                                                                                 |

### 事業名 里山環境保全活動

#### 事業の目的

- 気軽に楽しく自然体験活動を行い、環境保全への関心を高める
- 多くの人に里山の役割や自然環境保護に関する知識を持ってもらい、行動する大切さを知ってもらう

#### 事業の内容

- 地域環境整備活動(毎月2回)  
地域の清掃や道路の整備、土嚢づくり等を住民とともに実施／年間24回開催／参加者:延べ280人
- 里山環境保全活動(月1回程度)  
梅もぎや梅シロップづくり、玉ねぎの植え付け、柑橘の植樹、シャワークライミング等、季節に合わせた自然の営みを体験できるイベントを企画実施／年間10回開催／参加者:延べ128人
- 大地再生活動(年4回、7日間)  
造園技師の矢野智徳(やのともりのり)さんが長年にわたる観察と実践を経て見出した環境再生の手法で、水脈を大地の要ととらえて、分断された水脈や地脈をつなぎなおし、その土地の自然と人間の共存を目指す環境再生の施工方法を講義と実践で学んだ／参加者延べ41人

#### 事業の成果

- 地域清掃や環境整備により、「もりのこえん」周辺の遊歩道や活動場所などの整備が進み、市民や子どもたちが安心して過ごすことができる場所となった
- 月1回のイベントへの参加により、里山の豊かさを実感してもらうことができた
- 環境整備活動には、不登校の子どもたちも参加するようになり、新たな「居場所」としても認知されてきた

#### 活動現場レポート

大地再生講座in上天花町

日時: 3月12日(火) 9:00~/場所: もりのこえん周辺(山口市)

- ◆ 大地再生の技術を参加者に実地で学んでもらうため、この日は京都や広島県の呉市から大地再生の技術を持った講師陣(造園技師等)が参加者とともに、もりのこえん周辺を流れる錦鶏川の水脈や土地の傾斜を考えながら、水をとおすためのU字水路を掘り進める作業を行いました。
- ◆ もりのこえんは長年空き家となっていた「古民家」を改装して拠点とされていますが、建物周辺の水はけが悪く、屋敷全体が湿気ており風通しが悪いという問題があったそうです。横殴りの雨が降るあいにくの天気ではありましたが、土の中の水と空気の循環がうまくいくように講師が説明・指示し、参加者は一生懸命シャベルやツルハシを使って作業を進められていました。



▲ 排水をどこにするか検討しながら作業進行

## 団体名 ドリームスクール実行委員会 (周南市)

|        |                                 |                                                                                             |
|--------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 中田 智加江                          | 団体の目的                                                                                       |
| 構成員数   | 6人                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>完全学校週5日制を契機に、地域の大人が指導者となって子どもの自然体験活動を応援する</li> </ul> |
| 設立     | 2002年6月                         |                                                                                             |
| 問い合わせ先 | dream_school_shunan@yahoo.co.jp |                                                                                             |

### 事業名 大島干潟ブルーカーボン体験事業

#### 事業の目的

○SDGs目標14「豊かな海を守ろう」をテーマに、干潟の保全活動と地域の活性化に取り組む「大島干潟を育てる会」と連携して、子どもたちが海洋に吸収される炭素（ブルーカーボン）の創出活動を体験し、豊かな海への愛着を深め、地球温暖化防止について学び、実践する

#### 事業の内容

##### ○ 大島干潟キッズDAYの開催

| 開催日 | ① 7月 2日(日)<br>② 11月 12日(日)                                                                                                                                                                        | 開催場所 | 大島干潟 | 参加者 | ①25人<br>②20人 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|-----|--------------|
| 内 容 | 大島干潟に生息する様々な生き物を観察、採取し、保全活動を通じて豊かな海が再生されていることを体験するイベント<br>〈体験1〉船の上から建て網漁を見学し、どのような魚がいるか観察<br>〈体験2〉藻場にいる生き物を箱眼鏡で観察、捕獲し、名前や特徴を学ぶ。アマモやコアマモも採取し、ブルーカーボンについて学ぶ<br>〈体験3〉干潟でのアサリの間引き作業を体験し、大きさの分類後、干潟へ帰す |      |      |     |              |

※3回の開催を予定していたが、悪天候により3回目は中止

#### 事業の成果

- 干潟の保全活動団体（大島干潟を育てる会）と連携して取り組むことで、魅力的な活動プログラムを実施することができた
- 大島干潟に生息する生き物に詳しい専門家（㈱東京久栄）の協力を得ることで、より環境問題や海洋生物への知識が深まる体験となった
- 高齢化の進む大島干潟を守る会のメンバーにとっては、子どもと一緒に活動し、喜ぶ様子を見ることで今後のモチベーションアップにつながった

#### 活動現場レポート

##### 大島干潟キッズDAY（第1回）

日時：7月2日（日）13：00～／場所：大島干潟（周南市）

- ◆この日は小中学生25人、保護者約30人の参加があり、3つの班に分かれて3つのプログラムを約30分で休憩を入れながら体験しました。
- ◆体験終了後には、藻場で取れた生き物の報告やアサリの水質浄化、アマモによるブルーカーボンの仕組み等の説明がありました。また、大島干潟の由来（新南陽港の航路浚渫土による人工干潟）の説明もありました。
- ◆大島干潟を守る会とスタッフ・漁業者との連携がよい上に、全員が子どもや保護者たちに知って、わかってもらおうとの共通した姿勢が印象的でした。
- ◆目的とする大島干潟の知名度、活用度、理解度等のアップに役立つとともに、ブルーカーボンに子どもの頃から慣れ親しむことは、今後の子どもたちや保護者に「海の豊かさを守ろう」をアピールする格好の題材と感じられました。

イベントの様子 ▶



## 団体名 屋代島さとうみネットワーク (周防大島町)

|        |                         |                                                                                                                                               |
|--------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 田中 貞徳                   | 団体の目的                                                                                                                                         |
| 構成員数   | 6人                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>周防大島町における豊かな海の維持・向上に貢献し、次世代に継承する</li> <li>周辺海域の環境と地域文化を事業者が学校、行政等に対して啓発し、住民と一体となって里海の保全に努める</li> </ul> |
| 設立     | 2019年4月                 |                                                                                                                                               |
| 問い合わせ先 | ☎090-7507-2821<br>(事務局) |                                                                                                                                               |

### 事業名 周防大島海洋SDGs啓発事業

#### 事業の目的

- 周囲を海に囲まれた周防大島町は、美しく豊かな海洋環境に恵まれているが、海への関心が薄れつつあることから、海への関心を高めることで、豊かな海をいつまでも残していこうとする住民意識の向上を図る

#### 事業の内容

- 海岸清掃: 観光客にもゴミ袋を渡して一緒に海岸清掃を実施(年間7回開催)  
場所: 真宮島、片添ヶ浜、内入海岸等
- 環境パネル展示: 環境月間(6月)にあわせてキャンプ場事務室に啓発パネルを展示
- 海洋環境クルーズ

|     |                                                                                                                                                |      |             |     |     |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------|-----|-----|
| 開催日 | 7月26日(水)                                                                                                                                       | 開催場所 | 広島県水産試験センター | 参加者 | 10人 |
| 内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>大島商船高専の実習船を使用し、倉橋島の東岸にある広島県水産試験センターへ行き、カキ養殖用プラスチックパイプの利用実態を見学</li> <li>途中、水温や透明度浮遊ゴミの視認確認を実施</li> </ul> |      |             |     |     |

- 環境エネルギー(株)(福山市)の見学  
廃棄プラスチックの燃料化(プラスチックの漂着ゴミも燃料とされている)について学んだ
- 子ども海洋環境教室

|     |                                                                                                        |      |        |     |    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------|-----|----|
| 開催日 | 10月14日(土)                                                                                              | 開催場所 | なぎさ水族館 | 参加者 | 6人 |
| 内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>水族館の飼育学芸員を講師に真宮島海岸における海岸の生き物を指標にこれらの有無を調査(水質と豊かさの判定)</li> </ul> |      |        |     |    |

#### 事業の成果

- 継続的な海岸清掃により、住民参加、特に町外からの参加が目立ち、海のゴミについて意識が高まっていることを実感した
- 磯観察や洋上に出てのゴミの実態や海洋環境の知識を拡充することができ、海岸のプラゴミもエネルギーに転換できることを知ることで、今後の清掃活動にも拍車がかかることが期待できる
- 漂着ゴミの改善や地域エネルギーの確保により、SDGsをベースとした環境意識の高い先進地域とすることで地域活性化につなげたい

#### 活動の写真



▲ 海洋環境クルーズ



▲ 環境パネル展示



▲ 海岸清掃



▲ 海洋環境教室

## 団体名 Y G K 柳井減災普及研究会 (柳井市)

|        |                    |                                                                                            |
|--------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 井上 美穂              | 団体の目的                                                                                      |
| 構成員数   | 5人                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>避難場所での模擬体験を通じ危機感を共有し、地域の生き抜く力や復興活動の一助とする</li> </ul> |
| 設立     | 2021年11月           |                                                                                            |
| 問い合わせ先 | inopee10@gmail.com |                                                                                            |

### 事業名 「防災・減災・育成・支援・普及」事業

#### 事業の目的

- 地域の特色を加味した避難所模擬体験生活を体験することで「避難場所→避難所生活→復興」の過程を多くの方と体験する

#### 事業の内容

- 地域住民の防災意識を高めるイベント等を開催

| 実施内容          | 開催日       | 開催場所            | 参加者 |
|---------------|-----------|-----------------|-----|
| 防災センターの見学     | 6月24日(土)  | 大島防災センター        | 7人  |
| 近隣自治会合同の防災学習会 | 8月21日(日)  | 西福祉センター         | 20人 |
| 救急救命講習会       | 10月28日(土) | 西福祉センター         | 20人 |
| 山根西自治会防災訓練    | 11月20日(月) | 山根西金光教前駐車場      | 40人 |
| 避難訓練          | 12月26日(火) | 西福祉センター～フラワーランド | 33人 |
| 市長と気軽にトーク     | 2月4日(日)   | 西福祉センター         | 7人  |

#### 事業の成果

- 隣町の防災センター見学は、過去の災害の展示を見ることで身近な災害を意識できた
- 市民活動フェスタのワークショップでは、非常持ち出し袋に備えるものを考えることで防災への認識を高めることができた
- 避難訓練では、中高生がリーダーシップをとって、子どもたちだけで落ち着いた行動がとれた

#### 活動現場レポート 避難訓練 日時：12月26日(火) 10:00～16:00／西福祉センター他(柳井市)

- ◆ この日は冬休みを利用して子どもたち主体の避難訓練が行われました。
- ◆ 小学生を中心に約30人が参加。はじめに柳井消防署からの水消火器体験と消防車の見学が行われ、子どもたちは興味深く消防車を眺めたり、ホースは重いのか、海水をかけることはあるのか等機材や消火活動のやり方等を積極的に質問していました。
- ◆ その後、地区住民の避難場所となっている「やまぐちフラワーランド」に実際の避難経路を歩きながら向かいました。「このあたりが海拔〇m」「今日は広い道を通るが実際はあそこから入るもう少し小高い山道を通して」等説明されながら片道約2.5キロを歩きました。
- ◆ 他にも電気自動車の電気を使ってお湯を沸かして備蓄品の試食をしたり、NTTの伝言ダイヤルの体験、新聞紙防災スリッパの作成体験等もあり、楽しみながら防災の大切さを知り、学ぶことができました。

参加者みんなで ▶



**団体名** 特定非営利活動法人 あっと (山口市)

|        |              |                                                                                                           |
|--------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 藤井 智佳子       | 団体の目的                                                                                                     |
| 構成員数   | 10人          | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て中の家族への支援と、それをとりまく地域の人々を巻き込んだ「子育てから始めるコミュニティの創造」に寄与する</li> </ul> |
| 設立     | 2006年3月      |                                                                                                           |
| 問い合わせ先 | 083-921-0428 |                                                                                                           |

**事業名** 女性の子育て、ライフスタイル、仕事の両立をサポートする  
ライフワークコンシェルジュ育成、支援事業

**事業の目的**

- 女性が自分らしい働き方で生活できるよう、寄り添い型の伴走支援を行う「ライフワークコンシェルジュ」の養成を目指し、実践・スキルアップの場をつくる

**事業の内容**

- 支援者のための養成講座

|     |                                                                      |      |               |     |     |
|-----|----------------------------------------------------------------------|------|---------------|-----|-----|
| 開催日 | 6月9日(金)                                                              | 開催場所 | 山口市男女共同参画センター | 参加者 | 14人 |
| 内容  | ・社会保険労務士や情報発信の専門家等を講師に、子育て支援、就労支援、両立支援等今後のライフワークコンシェルジュの活動につながる講座を開催 |      |               |     |     |

- 支援者活動(8月～3月)

- ・子育て支援や就労支援の現場で、自己研鑽できる場の提供を行い、支援者として考えている女性に対し、コンシェルジュが寄り添い伴走支援を行った

**事業の成果**

- 子育てしながら様々な悩みを抱えている女性一人ひとりに寄り添う、当事者目線と専門的な知識を持ち合わせ、子育て期女性の課題・働く上での不安を理解し、共感と後押しをするキャリアの伴走者＝ライフワークコンシェルジュの養成ができた
- 下関市、宇部市在住者がコンシェルジュとなり、活動の幅が広がった
- 今後は、地域の実情に応じて継続的に伴走支援できるよう、自治体と連携するなど、体制を整えたい

**活動現場レポート** ライフワークコンシェルジュ養成講座  
日時：6月9日(金) 9:30～／場所：山口市男女共同参画センター(山口市)

- ◆ この日は、「ライフワークコンシェルジュ」養成講座が開講されました。午前中は「子育て支援と女性の就労支援を取り巻く環境」や「ライフステージに合わせた働き方と税金の仕組み」について学ぶ講座、午後からは、ランチ交流会を挟んで情報発信の講座という予定でした。
- ◆ 午前中の講座では、これから働こうとしている女性を支援するために必要な知識～制度や法律、助成金など～を学ぶ内容となっており、参加者はメモを取りながら熱心に聴講されていました。
- ◆ 最後に当会の藤井代表から、「まずは相談者の言葉を傾聴し、受容や共感を大切に、信頼できる関係づくりを進めてほしい」と挨拶があり、皆さんが大きく頷きながら聞かれている姿が印象的でした。
- ◆ 今後このみなさんがコンシェルジュとして女性たちのエンパワメントを促す存在となっていただくこと期待しています。

講座の様子 ▶



## 団体名 チャイルドサポートwith (下関市)

|        |                     |                                                                                                                                    |
|--------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 谷 範子                | 団体の目的                                                                                                                              |
| 構成員数   | 5人                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者支援の強化をキーワードに、家庭をサポートし、子どもの健全育成を図る</li> <li>活動を通して、学校や幼稚園等の行き渋りや不登校の早期予防と軽減を図る</li> </ul> |
| 設 立    | 2016年4月             |                                                                                                                                    |
| 問い合わせ先 | os.with22@gmail.com |                                                                                                                                    |

事業名 子ども支援団体（子ども食堂を含む）への後方支援活動を通じて子どもの心と学ぶ力のサポート事業

### 事業の目的

○ 様々な子ども支援の組織と連携し、個々の事例に細やかに対応することで素早い解決に導く

事業の内容 ※コグトレとは・・・認知トレーニング(cognitive training)の略で、社会面、学習面、身体面からの3つのトレーニングで構成。認知機能が強化され、学力や生活全般の質の向上など、様々な効果が期待できる。

○ 地域の子どもの支援団体や地域、学校への後方支援

生野あそぼう会、放課後ひろば山の田、月スタ山の田、山の田中学校、kananowa等において、コグトレ(※)を使っの遊びや学習支援、地域との交流等を実施

○ 支援者研修・保護者向け研修

|     |                                                 |      |                  |     |              |
|-----|-------------------------------------------------|------|------------------|-----|--------------|
| 開催日 | ① 7月25日(火)<br>② 12月10日(日)                       | 開催場所 | ①生野小学校<br>②北部公民館 | 参加者 | ①20人<br>②40人 |
| 内 容 | ①コグトレを活かした仕掛けと見とる力、地域支援者とのコグトレ体験<br>②コグトレの理論と実践 |      |                  |     |              |

○ 子ども対象イベント

|     |                                                                                              |      |                                                  |     |                              |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------------------------------|-----|------------------------------|
| 開催日 | ① 9月17日(土)<br>② 1月 6日(土)<br>③ 1月 7日(日)<br>④ 3月20日(水)                                         | 開催場所 | ①山の田小学校体育館<br>②生野小学校体育館<br>③山の田小学校体育館等<br>④北部公民館 | 参加者 | ①70人<br>②59人<br>③51人<br>④44人 |
| 内 容 | ①山の田コグトレ運動会<br>②③忍者あそび(1月7日は午後から大人対象の北島尚志講演会を開催)<br>④竹の楽器スピリットキャッチャー作り&春まちコンサート(村川博司/民族楽器演奏) |      |                                                  |     |                              |

### 事業の成果

○ 「大人の役割は子どもが一人で生きていける力をつけてあげること」を常に意識して活動を行い、多くの子どもたちに参加いただけた。就学前、小学生対象の支援を新たに開始し、好評を得た

活動現場レポート 山の田コグトレ運動会  
日時：9月17日(日) 10:00～/山の田小学校(下関市)

- ◆ この日は山の田小学校親父の会が主催し、「山の田コグトレ運動会」が開催され、当会は「子ども団体の後方支援」という位置付けで遊びの考案や必要なツールの用意と体験の補助を行われていました。
- ◆ 子どもたちが体験する競技は時間を区切って、「じっくりタイム」(頭を使うもの)、「のびのびタイム」(体幹を使うもの)に分かれており、それぞれやりたいところから挑戦できます。競技を終えると担当スタッフからカードにスタンプを押してもらえ、全部体験することを目指して頑張っている姿が見られました。
- ◆ イベントの検証など成果や課題を確認しながら、コグトレの効果を啓発していただきたいと思います。



▲ コグトレを楽しむ子どもたち

## 団体名 おひさまカフェ (岩国市)

|        |                       |                                                                                                             |
|--------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 高木 裕美                 | 団体の目的                                                                                                       |
| 構成員数   | 32人                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>食事の提供により子どもの孤食を防ぎ、地域交流の拠点として住民のつながりを深め、地域で子どもの成長を見守り、支援する</li> </ul> |
| 設立     | 2020年7月               |                                                                                                             |
| 問い合わせ先 | takaki1115@outlook.jp |                                                                                                             |

### 事業名 食でつながる、地域の輪

#### 事業の目的

○生活困窮者の支援と、支援が必要な家庭の早期発見、地域の孤立予防

#### 事業の内容

○子ども食堂の開催及び子どもの居場所づくり

|     |                                                               |      |                        |     |        |
|-----|---------------------------------------------------------------|------|------------------------|-----|--------|
| 開催日 | 毎月1回(原則土曜)                                                    | 開催場所 | 玖珂中央コミュニティーセンター、玖珂小学校等 | 参加者 | 延べ960人 |
| 内容  | ・子ども食堂の開催とそれに併せたワークショップ(茶道体験、バルーンアート、火起こし、パン教室、クリスマスコンサート)を開催 |      |                        |     |        |

○フードパントリー・フードドライブの実施

|     |                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------|
| 開催日 | 6月17日(土)、8月19日(土)、12月20日(水)／フードパントリー12月4日～15日                        |
| 内容  | 家庭や企業で余っている食品を提供いただき、12月20日のフードパントリーで必要な家庭に寄付延べ60世帯にレトルト食品や米を無料で提供した |

#### 事業の成果

- 8月から子ども食堂を会食形式にしたことで、開催時間の延長、ワークショップなどが実施でき、子どもの居場所づくり、コミュニケーションの増加にもつながった
- 民生委員や学校教諭、住民の方々がボランティアで参加くださり、支援体制づくり、地域交流の拠点となった
- フードドライブの実施で、支援をつなぐシステムができた。また、中高生のボランティアも増え、関心の高まりを感じた

#### 活動現場レポート

おひさまカフェ(子ども食堂)  
日時: 12月16日(日) 10:00～／玖珂小学校(岩国市)

- ◆この日は月に1回の子ども食堂が実施され、クリスマスが近いということもあり、食堂のオープンに併せてコンサートも企画されていました。参加者の期待も高まっており、玖珂小学校の多目的ルームには10時の開催とともに定員の50人を超える多くの方が集まりました。
- ◆食堂はとても盛況で、毎回定員を上回る方が集まるとのことで地域にしっかり根付いた活動となっていることが分かりました。
- ◆また、今回、地域の有志の方による音楽演奏が企画されていたように、食堂イベントには何等かの形で地域の方が協力されているそうで、地域を巻き込んだ活動となっていることが伺えました。



子ども食堂の様子 ▶

## 団体名 やないしらかべ『絆』ねっとわーく (柳井市)

|        |                         |                                                                                                                                                           |
|--------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 中本 瑞穂                   | 団体の目的                                                                                                                                                     |
| 構成員数   | 19人                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>柳井市・近郊地域の子どもたちを対象に、食事の提供、学習支援、体験教室などを行い、子どもの健やかな成長につながる居場所づくりを目指す</li> <li>子どもの悩みや不安の解消に向け、他団体や行政等と連携する</li> </ul> |
| 設立     | 2021年4月                 |                                                                                                                                                           |
| 問い合わせ先 | 871.kizunanet@gmail.com |                                                                                                                                                           |

### 事業名 子ども食堂新しい生活様式対応事業（子育て家族支援体験教室）

#### 事業の目的

○子どもの体験教室を行い、子どものエンパワーメント（能力向上）を支援する子ども食堂を目指し、子ども食堂を必要とする家庭を継続的に支援し続ける

#### 事業の内容

○体験教室の開催

|    |                                                                                                                                       |      |                       |     |                    |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------|-----|--------------------|
| 開催 | 7月～3月の間で年間21回                                                                                                                         | 開催場所 | やないろ（柳井市柳井津）<br>周防大島町 | 参加者 | 延べ208人<br>（年長～高校生） |
| 内容 | 英会話教室、オリジナルクッキーボックス、クラフトコーラ、お片付けボード、書道、オリジナルうちわ、フルーツポンチ料理教室、美容体験、キウイ狩り、チョコスティッククッキー、クリスマスカレンダー、Xmasケーキ、お菓子ネックレス、タイピング、カスタムボールペン味噌づくり等 |      |                       |     |                    |

#### 事業の成果

- 地域で活躍する方たちとの連携で、様々な体験教室を開催することができた
- 体験教室をきっかけに習い事を始める子どもたちもあり、新たな学習のきっかけとなった
- 体験を通じて子ども同士、親同士の交流から、地域のつながりを広げることができた
- 田布施農工高等学校との連携（ボランティア）により、生徒にとっても「教える」立場を経験することで学習の一環となった

#### 活動現場レポート

夏休みお片付けボードづくり

日時：8月1日（火）13：30～／場所：やないろ（柳井市）

- ◆8月1日に開催された、「夏休みお片付けボードを作ろう」に訪問しました。
- ◆講師は、整理収納アドバイザーとして活躍している小田絵里氏。お手伝いや片づけなど、夏休みに毎日できることをボードに6つ書いて、ひもやビーズを使って個性あふれる「お片付けボード」を作成しました。
- ◆小学校低学年や年中の子の参加があり、途中で飽きてしまうのではないかと心配しましたが、講師や高校生のサポートで、一生懸命黙々と作成しているのが印象的でした。
- ◆体験教室やワークショップは、とても人気が高くリピーターも多く、募集するとすぐに定員になるとのこと。今回も常連の方が親子連れで参加されていました。
- ◆田布施農工高校の生徒にボランティアスタッフとして参加してもらうなど、横のつながりも広がっており、今後の展開が期待されます。

大人も子どもも楽しみながら参加 ▶



## 団体名 有帆竹灯会 (山陽小野田市)

|        |                        |                                                                                                                                                |
|--------|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 伊藤 博通                  | 団体の目的                                                                                                                                          |
| 構成員数   | 35人                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>豊富な竹資源を活用し、地区内外のイベントを竹あかりや竹細工などで盛り上げるとともに、独自イベントを計画実施し交流を深め、青少年の健全な育成と地域活性化、里山の自然環境の保全整備に努める</li> </ul> |
| 設立     | 2017年5月                |                                                                                                                                                |
| 問い合わせ先 | ☎090-4803-8735<br>(伊藤) |                                                                                                                                                |

### 事業名 物作り体験と交流による青少年健全育成事業

#### 事業の目的

- 青少年が気軽に参加でき、年代を超えてともに物づくりを体験する中で会話し、学び、考え、様々な想いを経験し、自分の成長につなげること
- 青少年の健全育成の協力の輪を広げるとともに、地域の活性化につなげること

#### 事業の内容

- 親子で物作り体験と交流

|                                                         |                                                         |      |                  |     |      |
|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------|------------------|-----|------|
| 開催日                                                     | 6月16日・9月8日・<br>12月17日                                   | 開催場所 | 有帆小学校・有帆地域交流センター | 参加者 | 200人 |
| 内 容                                                     | 有帆小学校の子どもたちとともに、竹カップンや竹灯ろう、輪飾り等を作成                      |      |                  |     |      |
| ○ 有帆ホテルまつり（6月10日（土）／有帆地域交流センター運動広場）<br>ホテル観賞、竹とうろう点火体験  |                                                         |      |                  |     |      |
| ○ ソーメン流し（7月25日・8月12日／石井手保育園、有帆小学校）                      |                                                         |      |                  |     |      |
| ○ 有帆地区でのイベントで開催協力<br>ふれあいまつり等で餅つき、輪飾りづくり、門松づくり、どんど焼きに協力 |                                                         |      |                  |     |      |
| ○ 第7回「わくわく竹あかりin江汐」の開催                                  |                                                         |      |                  |     |      |
| 開催日                                                     | 10月28日（土）                                               | 開催場所 | 江汐公園             | 参加者 | 400人 |
| 内 容                                                     | 竹とうろう作り、竹細工等の遊び体験、ステージイベント（和太鼓、キッズダンス、バンド演奏、アルプホルン演奏など） |      |                  |     |      |

#### 事業の成果

- 協働団体、関係3地区の自治会協議会、ふるさとづくり協議会、学校、児童館、保育園等の協力を得て、「青少年健全育成の地域の輪」が年を追うごとに広がっており、会の趣旨を多くの皆さんに理解していただけてきたことが実感できた

#### 活動の写真



▲ 子どもたちと竹カップンづくり



▲ 灯ろうに灯りをとす



▲ ライトアップされた竹灯り

## 団体名 猫幸の家 (柳井市)

|        |                        |                                                                                                                   |
|--------|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 大西 優花                  | 団体の目的                                                                                                             |
| 構成員数   | 7人                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>柳井健康福祉センターに収容された犬猫の救助、繁殖現場における猫の救助</li> <li>TNRの実施。動物の適正飼養の普及啓発</li> </ul> |
| 設立     | 1989年12月               |                                                                                                                   |
| 問い合わせ先 | kwmr.natsumi@gmail.com |                                                                                                                   |

### 事業名 保護猫活動地域推進事業

#### 事業の目的

○柳井エリアにおける保護猫の実態や正しい知識を広く知ってもらうため、単なる猫イベントでなく、幅広く興味を持ってもらえるような講座を活用しながら譲渡会などを開催し、野良猫問題を地域が抱える環境問題として解決する

#### 事業の内容

○体験型ワークショップを伴った譲渡会の開催・・・参加者延べ40人

|     |                                                                                                                 |      |       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 開催日 | ①4月15日(土)・22日(土)②6月17日(土)・24日(土)<br>③8月19日(土)・26日(土)④10月14日(土)・21日(土)<br>⑤12月16日(土)・23日(土)⑥2月10日(土)・17日(土)      | 開催場所 | 柳井市柳井 |
| 内容  | ①ハーバリウムボールペン製作講座&譲渡会 ②アロマストーン製作講座&譲渡会<br>③ねこちぐら製作講座&譲渡会 ④ハーバリウムボールペン製作講座&譲渡会<br>⑤アロマストーン製作講座&譲渡会 ⑥ねこちぐら製作講座&譲渡会 |      |       |

○第1回やにゃい譲渡会「保護猫譲渡会～保護猫カフェとのコラボ活動～／3月31日

|     |                                    |      |                  |     |      |
|-----|------------------------------------|------|------------------|-----|------|
| 開催日 | 3月31日(日)                           | 開催場所 | 保護猫カフェ「メルという名の猫」 | 参加者 | 約70人 |
| 内容  | 保護猫の譲渡会、フリーマーケット、保護猫の絵本が読めるキッズスペース |      |                  |     |      |

○SNSでの情報発信、野良猫保護のお手伝い、里親募集ポスターの作成等を実施

#### 事業の成果

- 年間で、34匹のTNR、29匹の里親への譲渡ができた
- 市内での講座兼譲渡会の開催により、保護猫活動についての周知ができ、賛同、応援の輪が広がった

活動活動レポート 第1回やにゃい譲渡会  
日時：3月31日(日) 10:00～／場所：保護猫カフェメルという名の猫(柳井市)

- ◆今回は4月にオープン予定の保護猫カフェとコラボして保護猫の譲渡会が開催されました。
- ◆毘にかかって、しっぽのない猫や、妊娠していたため処分を免れた親子の猫など、その素性やここに来た経緯、状況をそれぞれの希望者に説明し、保護の必要性などを訴えておられました。
- ◆保護猫はその日すぐに譲渡されることはありませんが、すぐに連れて帰りたいという人や広島から来たという人もいて、関心の高さが伺えました。
- ◆新しい場所での、初めての譲渡会ということでしたが、以前に譲渡を受けた人などがボランティアで手助けに駆けつけたり、地域の方も応援に来られるなど、周囲を巻き込みながら地域に根付いた活動をされていると感じました。



▲ 譲渡会の様子

## 団体名 ローディング・エレファント (山口市)

|        |                        |                                                                                                                    |
|--------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 時里 麻里                  | 団体の目的                                                                                                              |
| 構成員数   | 3人                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>ダンス・メディアアートなどの作品制作、発表・ワークショップ・リサーチ・勉強会などの活動、情報の発信、他アーティストや団体との連携</li> </ul> |
| 設立     | 2021年4月                |                                                                                                                    |
| 問い合わせ先 | fukutomemari@gmail.com |                                                                                                                    |

## 事業名 山なみダンスウィーク

### 事業の目的

○ダンスを通じて様々なアーティストが対話と交流を行い、市民に向けたワークショップや報告会につなげていき、一般市民の方々に「ダンス」をより身近に感じてもらう

### 事業の内容

○山なみダンスウィークの開催

|     |                                                                                                                                                                                           |      |          |     |     |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|-----|-----|
| 開催日 | 7月6日(木)～13日(木)                                                                                                                                                                            | 開催場所 | 秋吉台国際芸術村 | 参加者 | 15人 |
| 内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>NY在住のダンサー・振付師 小川真帆と山口市在住のダンサー・振付師 福留麻里によるコラボレーション企画を入口に、ゲストアーティストを招いて非公開でのクリエイションや対話をメインのプログラムとし、その後、市民を対象としたワークショップや報告会(パフォーマンスを含む)を実施</li> </ul> |      |          |     |     |

### 事業の成果

○様々な土地で活動するアーティスト同士が、秋吉台の自然環境の中で活動紹介を含めたワークショップをすることで通常よりも深い対話や交換の機会となり、ダンスやアートについてそれぞれの土地で活動し、コミュニケーションしていくことについての示唆に富んだ取組となった

### 活動現場レポート

#### 山なみダンスウィーク

日時：7月13日(木) 13:00～／秋吉台国際芸術村研修室

- ◆ 最終日となる7月13日は、会のメンバーであり、ダンサー・振付師の小川さんと福留さんが行っている「小さな振付の採集」をテーマにしたワークショップが行われました。
- ◆ 即興のテーマ思いついた体の動きを一人ひとりがシェアしていくというものでテーマは「カーブ」。みんな全く違うカーブを体で表現していきましました。
- ◆ 次に、福留さんが2021年から日記のように記録している小さな振付90点以上の中から、数点を紹介され(どのような状況で、どうしてこの振付を記録しようと思ったかなど)、実際にそのポーズを取ったり、振付をやってみたりという体験を行いました。
- ◆ 最後にこのイベントに参加したメンバーが取り組んでいることを説明され、イベントを通して得たり学んだ「小さな振付」を思い思いに体で表現して終了。日常のちょっとした小さな動きを振付の素材としている点でとても新鮮で、非日常的な体験をすることができました。



▲小さな子ども興味津々

## 団体名 一般社団法人YMA山口ミュージックアカデミー（山口市）

|        |                          |                                                                                                                                         |
|--------|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表者名   | 棟久 佳代子                   | 団体の目的                                                                                                                                   |
| 構成員数   | 4人                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>芸術・文化の普及・向上とその高揚、及び音楽を核とした各種企画、事業活動やイベントを通じ地域・産業との交流促進や情報を構築し、魅力ある街づくりと音のある風景の醸成を推進する</li> </ul> |
| 設立     | 2022年2月                  |                                                                                                                                         |
| 問い合わせ先 | munehisa@mx5l.tiki.ne.jp |                                                                                                                                         |

## 事業名 世界屈指のアコーディオン奏者との夢の共演「アコーディオンオーケストラ」

### 事業の目的

- 山口県の音楽文化の底上げのため、音楽愛好家の友好交流の場を設ける
- 世界トップクラスの音楽家の指導を受けることで音楽文化の向上を図る
- 学校に眠っているアコーディオンを修理整備し、使用することでアコーディオンに光をあてる

### 事業の内容

○世界的アコーディオン奏者と夢の共演「アコーディオンオーケストラ」の開催

|     |                                                                                                                                                                                                                                                              |      |          |     |      |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|-----|------|
| 開催日 | 12月9日（土）                                                                                                                                                                                                                                                     | 開催場所 | 秋吉台国際芸術村 | 参加者 | 100人 |
| 内容  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ（12月3日）<br/>世界的に有名なアコーディオン奏者トマシュ・オスタゼウスキー氏（ポーランド）に指導を受け、正しい演奏方法、アコーディオンの魅力、アンサンブルの楽しさを知る</li> <li>コンサートは二部構成で、一部は公募等による子ども（幼稚園）から大人までの約50人による演奏。グループに別れ、メヌエット、きらきら星、村の夜等合計10曲が演奏された。二部はトマシュ氏による特別演奏</li> </ul> |      |          |     |      |

○アコーディオンの調達・・・山口市内の小学校から計22台のアコーディオンを提供してもらい、修繕して練習、セミナー、コンサートで使用し、学校へ返却

### 事業の成果

- 世界トップクラスの音楽家の指導により、アコーディオンの正しい持ち方、演奏の仕方、舞台マナーなどを学ぶことができた
- 県内の音楽愛好家のつながりが図れ、アコーディオンの魅力、アンサンブルの楽しさを体験してもらえた
- 市内の小学校のアコーディオンの整備（修繕）をすることができた
- 今後は、他の楽器でも海外のスペシャリストを招聘、指導を受けることで山口県の芸術文化の向上を図りたい

### 活動現場レポート

#### アコーディオンワークショップ

日時：12月3日（日）10：00～／山口ミュージックアカデミー（山口市）

- ◆この日は12月9日（土）に本番を迎えるコンサートの一週間前ということで、出演者達がプロの奏者から演奏技法や弾き方を学ぶというワークショップが行われていました。
- ◆子どもから（幼稚園）から大人まで延べ約50人が参加。数人のグループごとに約20分程度トマシュ氏からアドバイスを受けるというスタイルでした。演奏者達が使用するのは鍵盤のみの合奏用アコーディオンで、姿勢や蛇腹の開き方といった基本から、音の強弱の付け方（空気の送り込みのやり方）等、丁寧に指導を受けていました。山口県での実現が難しい演奏家からの指導を受けたことは、皆さんにとって非常に有意義な体験になったようです。



▲丁寧な指導を受けるみなさん



発行 令和 7 年（2025 年）5 月

公益財団法人

山口きらめき財団

YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION

〒753-0021

山口県山口市桜畠三丁目2番1号 山口県宮野庁舎2F

TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096

Email [info@y-kirameki.or.jp](mailto:info@y-kirameki.or.jp)

